

発行所：社団法人 全国鉄道広告振興協会

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1丁目5番5号 JR恵比寿ビル10階

TEL：03-5791-1808 FAX：03-3443-1616 メールアドレス：information@jarap.jp

URL：<http://www.jarap.jp/>

巻頭レポート

モバイル連動型デジタルサイネージ実証実験 沿線送客新メディア「こぶたたち」の取り組み

株式会社 NKB
営業二部 課長
日吉 徹

近年、情報メディアの多様化に伴い、新たな広告コミュニケーション手法と接点開発が重要視される中、生活導線上の接点メディアである「交通・O・H広告」と「ケータイ」の活用方法を各社が模索しています。

この流れの中、(株)NKBと(株)ADK、(株)ディ・キッズの3社は、横浜高速鉄道(株)の協力のもと、

① デジタルサイネージ

② Felicaリーダー端末

③ 沿線情報ケータイポータルサイトを

を連携させた、新しい送客メディア「こぶたたち」の実証実験をみなとみらい沿線エリアで4月にスタートしました。期間

は、現在開催中の横浜開港150周年記念イベント「Y150」のスタートに合わせ、2009年4月28日～2010年3月31日までを予定しています。

この実証実験では、デジタルサイネージとFelicaリーダー端末を使用し、モバイル沿線情報サイトと連携させています。駅構内を中心としたデジタルサイネージ広告とモバイル広告をクロスすることで「新しい広告価値」と「生活者接点」の創出を目指しています。

「こぶたたち」の展開は、みなとみらい線の横浜、みなとみらい、馬車道、日本大通り、元町・中華街の計5駅と周辺エリアの店舗。広告を配信するデジタルサイネージと、沿線情報ポータルサイトに誘導するFelicaリーダー端末を設置しました。ケータイをFelicaリーダー端末にかざすと沿線情報ポータルサイトで、デジタルサイネージで放映されているコンテンツや広告の情報が取れるほか、周辺のイベント

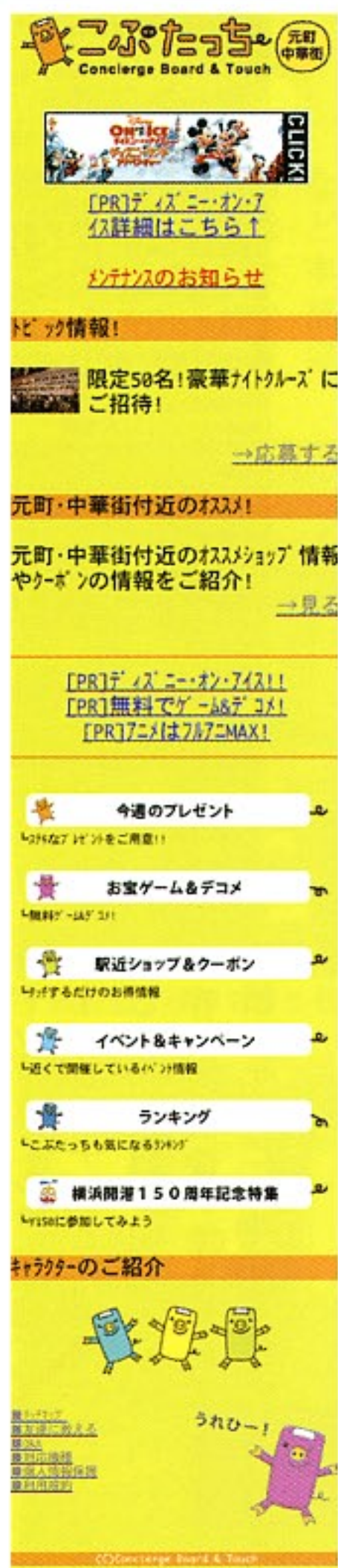
情報や店舗情報、割引クーポン等のお特な情報が得られる仕組みです。加えてプレゼントやゲーム、デコメといった様々なインセンティブを提供しています。エリアのお特な情報やイベント情報がポータルサイトに集約されています。タッチすると得する、それが「こぶたたち」です。

送客するメディア

携帯で使えるクーポンサービスは数多くありますが、実際のどのくらい使われたかの検証は、今まで曖昧にしかできませんでした。「こぶたたち」では店舗側にもFelicaリーダー端末を設置し、駅と店舗の両方でタッチさせることによって、ログを取っています。駅でタッチしたユーザーを店舗に送り届け、「送客」を確認する。業界初の試みです。しかし店舗でタッチさせるのが難しい。店頭でタッチさせるための動機付けは割引等のクーポンだけでは弱く、更なるインセンティブが必要ということ、インスタントウイン(スピードくじ)を設定しました。



元町・中華街駅52インチDSとFelicaリーダー



元町・中華街トップページ



日本大通り駅52インチDSとFelicaリーダー

送客メディアという発想に至った経緯について。駅という空間でデジタルサイネージを活用することを考えたとき、動いている人に動く映像を見せても響かないという問題が発生しました。デジタルサイネージ+αの要素が必要なのではないか。そこで大部分の駅利用者が常に持つていて、交通広告との親和性の高い情報入手ツールとしてのケータイに目をつけました。Felicaリーダー端末を用いケータイとデジタルサイネージを繋げることでエリアに特化したメディアが出来るのではないかと。こうしてインセンティブによる送客モデルがうまれました。

タッチには啓蒙が必要

最近ではFelicaリーダー端末を用いた情報サービスが増えていますが、まだまだタッチという行動に不安をもつ生活者も少なくないのが現状です。そういった方たちへの不安を解消するためにも、また他のサービスとの差別化を図るためにも、今回の実験では覚えやすく親しみやすいキャラクターデザインにこだわりました。そして起用されたのが、ケータイの形をしたこぶたのキャラクター、「こぶたっち」で



みなとみらい駅 ポスタータイプと自立式

す。こぶたっちの名前の由来はConcierge Board & Touch。
Felica対応ケータイでリーダー端末にタッチすると、「こぶたっち」が「ブヒー！」とかわいい鳴き声で沿線ポータルサイトへ誘導してくれます。



こぶたっち。タッチすると「ブヒー！」とかわいい鳴き声。

最後になりますが、本実験では、NKB、ADK、ディ・キッズの3社が運営主体として、事業企画、サイネージアド・モバイルアド・ポータルの構築・総合運用、広告考査、コンテンツ編集管理、解析及び調査を行っています。

また、店舗の開発及びクーポンサービス運用による送客効果検証を(株)JC B、(株)J&J事業創造にご協力頂いております。駅構内のメディア展開では、(株)ウィルコムデータ通信サービスWILCOM COREが、モニターブロードバ

こぶたっち Concierge Board & Touch

プレゼント抽選中!

【PR】発売日限定! 人気コングレスが満載!

こぶたっちお宝情報

※カウチクルーズプレゼント情報※

今年も横浜で、あの「お宝クルーズ」が開催。豪華客船での大冒険に、あなたもご招待。開催を記念し、まは「お宝クルーズ」の「お宝」をプレゼント! お宝クルーズは7月中旬から10月まで!!

お宝クルーズ詳細はこちら

【応募期間】
2009年6月15日(月)~
2009年7月17日(金)

【賞品】
応募していただいた方の中から、抽選で「お宝」1名。当選の発表は賞品の発送をもってさせていただきます。

A賞
お宝クルーズ「お宝」クルーズ2名4名
※通常運航の「お宝クルーズ」に代わり、お宝クルーズとなります。

※お宝クルーズに代わり、お宝クルーズとなります。

B賞
乗船優待券(通常2,400円を300円にて乗船できるチケット)1枚50枚
(※通常運航時にご利用可能。)

※お宝クルーズに代わり、お宝クルーズとなります。

【応募方法】
「お宝クルーズ」をクリックすると、空メール送信画面となりますので、そのまま送信してください。送信されるメールに、応募賞品等のURLが記載されておりますので、お宝クルーズのURLをクリックし、必要な情報を入力してください。

※1つの賞品につき、応募は1回までとなります。
※以下の設定をしている場合は、返信メールが来ません。
ご確認の上、設定されている場合は解除または変更してから、再度空メールを送信してください。
●メール指定の場合→メール指定の解除か、メール「cobtouch.jp」の登録
●メール指定受信の場合→メール指定の解除または「info@cobtouch.jp」または「sup@cobtouch.jp」の登録
●メールアドレスの場合→メールアドレスの解除
●URLリンク付きメール指定の場合→URLリンク付きメール指定の解除

【応募資格】
日本国内在住の方で、賞品のお届け先が日本国内の方に限定させていただきます。

※お問い合わせ先

サイトにはプレゼント情報も豊富

ンドソリューション(株)のデジタルサイネージシステムとの連携により、有線による通信工事が困難な駅構内における大容量の映像データ配信を実現する高信頼なサービス基盤を提供しています。

各社の協力により実現した「こぶたっち」この新メディアが期間中に集約した様々なデータの蓄積を通じて、参加各社の今後の事業に活用されればと考えております。

《実証実験の概要》

名称..

こぶたっち(Concierge Board & Touch)

期間..

2009年4月28日~2010年3月31日

場所..

横浜みなとみらい線、および周辺エリア(横浜駅、みなとみらい駅、馬車道駅、日本大通り駅、元町・中華街駅)ターゲット..

F1層をコア、M1層をコアサブ、F2/M2をサブとしたALLターゲット

目的..

デジタルサイネージとFelicaタッチデバイス、ケータイポータルを組み合わせたことで、新しいメディアを創出

設備..

① デジタルサイネージ(52インチ)+Felicaリーダー端末(4駅)

② デジタルサイネージ(103インチ)+Felicaリーダー端末(1駅)

③ Felicaリーダー端末単独(駅・商業施設・店舗 最大250台)

広場

「博多祇園山笠と博多駅」

理事 山田 眞弘 (九州旅客鉄道株式会社)

「おいさ。おいさ。」本格的な夏の到来とともに、博多の町には男衆たちの野太い掛け声が溢れる。今年も7月1日から15日まで、伝統の祭「博多祇園山笠」が開催された。

博多祇園山笠は全国各地で行われる祇園祭の一つで、博多の男衆たちが「流」と呼ばれる区域ごとに山笠を昇り、勇壮で疾走感溢れる祭である。鎌倉時代に博多で疫病が流行した際、承天寺の開祖、聖一國師が町民に担がれた木製棚に乗り、水を撒きながら町を清めて疫病退散を祈禱したことが発祥とされている。今年も博多の町のいたるところに「飾り山」が建てられ、最終日早朝4時59分から始まるフィナーレの「追い山」には男衆と多くの観衆が集い、大いに盛り上がりを見せた。

ところで、そもそも「博多」と「福岡」の違いをご存じだろうか。簡単に言うと商人の町博多と武士の町福岡である。本来博多は、東西1km、南北2kmのごく限られた小さな町であった。今



大勢の観客が見守る中、初めて博多駅に昇り入れた山笠



今年も博多駅に登場した荘厳な飾り山

も「福岡出合い橋」という橋があるが、その名の通り福岡と博多が出会う場所、橋が架かる那珂川より西の天神などが福岡、東の中区・博多駅などが博多なのである。廃藩置県の後、博多と福岡が合併して福岡市となったが、博多の名を残す良い方法はないかと思案した結果、表玄関である国鉄の駅を博多としたというエピソードもある。山笠やどんたくなど全国的に名の知れた祭は、実はこの博多の町から生まれたものである。

昨年、7つの「流」のうちの1つ、東流の山笠が初めて博多駅に昇り入れた。現在行われている九州新幹線や新博多駅ビルの工事の安全祈願という目的もあって実現したものである。その九州新幹線は、トンネル工事などが完了し、今後はレール敷設や駅設備などの工事が本格化する。新博多駅ビルは、内装・設備工事に着手し、平成23年春の開業へ向けて急ピッチで建設が進んでいるところである。何体もの大型クレーンが力強くそびえ立ってビルの



新駅ビル開業へ向けて工事のピッチが上がる博多駅

骨格を造り上げており、真新しい壁面も少しづつ顔を出して来た。これから、駅前広場も憩いや賑わいの交流拠点として大きく様変わりすることになる。今年も山笠が博多駅に昇り入れたが、2年後には、より多くの人々が、伝統ある山笠の感動を目に焼き付けて体感できる環境が整うことになる。

博多祇園山笠と博多駅。長い歴史の中で切っても切れない縁があるこの2つの博多のシンボルがどのように変貌し、そして融合していくのだろうか。その姿を目の当たりにできる日も、そう遠くはない。地域が一体となって町の躍動を生み出し、新たな歴史を創る。そんなこれからの「博多」に、ぜひ期待していただきたい。

次回は理事 白水清隆氏の予定です、お楽しみに。

平成21年度定期総会を開催

先月号でも触れましたとおり、6月10日(水)グランドプリンスホテル赤坂において、平成21年度定期総会を開催いたしました。

冒頭、岩崎会長より、次の通り挨拶があった。

平成21年度も、経済の見通しは不透明である。緩慢ながら株価が上昇しつつあること、機械類など一部の分野で発注が増加配を見せているなど明るい兆しがないわけでもない。しかし、依然米国超巨大企業の倒産の懸念が去らないなど不確定要素をはらみつつ、きびしい低迷状態が続いている。

こうした中で鉄道広告業界はマーケティング戦略の抜本的見直しを求められている。そのための処方箋として考えられることの一つは、この機会にデジタルサイネージの導入などにより業態の近代化を促進することである。デジタルサイネージは既に市街地などでかなりの普及が見られるが、鉄道広告に導入することになれば媒体とクリエイティブの一体化による省エネ省力化効果をはじめ美麗化、認知率の向上、ネットワーク化などによ

り大きな可能性をもった広告システムへの転換を促進することができると思われる。

もう一つは、公益法人改革への対応である。当協会会員社の業態はバラエティに富んでいるが、基本的に云えることは公共機関である鉄道の施設・車両を媒体とするものであるだけに、おのずから公益に関わる部分を多く有している点がある。こうした公益部分を集約し、法人組織として一方において公益活動を行なうことにより、業界の信用や社会的ステータスを高め、会員社の繁栄に繋ぐことができる。

以上の事柄を中心に協会諸活動を推進することが今年度の課題である。

決議事項は以下のとおりです。

第1号議案・第2号議案

平成20年度事業報告(案)及び、平成20年度決算(案)は、挙手による採決の結果、委任状によるものを含め、定款第41条に基づく2/3以上の賛成により議決された。

第3号議案

平成21年度事業計画(案)について

各委員会の主な活動目標

総務財務委員会

- 公益法人会計基準の導入
- 支部活動活性化支援
- 年次報告書の作成
- 新規会員の入会懇談
- 各広告団体との交流

間宮 泰三

総務・財務委員長コメント

今年度も、委員会は年4回の開催を予定している。年次報告書については特別プロジェクトを組み、稲川編集責任者を始め、編集の皆様の努力と、事務局のご協力により今年も発行することができた。ご意見があったら、お寄せいただきたい。会員拡大については、昨年度は退会社が十数社あったが、引き続き、会員拡大を懇願していきたいと思っている。

倫理委員会

- 鉄道広告の審査状況の把握と分析
- 鉄道広告倫理綱領及び掲出基準の適用に関する教育研修の実施
- 社会モラル・交通マナーキャンペーン実施の検討
- 広告倫理に関する事例研究会の実

施

- 日本広告審査機構、日本雑誌協会等との意見交換

清水 英明

倫理委員長コメント

昨年11月に、JARAP公益事業の一つでもある、広告の審査についての調査を行なった。11月1か月では約1万1千件、年間では約13万件の審査をJARAP傘下の広告代理店又は鉄道会社が行なっていることが分かった。詳しくは、JARAP NEWSをご覧いただきたい。これからの課題としては、掲出拒否、または何らかの問題があった広告物についてデータベース化したいと考えている。それにより、担当者、その時々々の事情、鉄道会社、エリアなどによって、審査の基準がぶれないようなものにしていきたい。また、これからの大きなテーマとして、社会生活を営む上での基本的なモラルのあり方や、交通機関を利用する時のマナーのあり方などについて検討し啓蒙キャンペーンを行っていききたいと考えている。

美観風致委員会

- 環境委員会と共同で示唆的なビジュアルによる第3回地球温暖化防止キャンペーンの実施

- 海外も含めた美観対策事例の収集と紹介

- 鉄道広告の美観風致に関する教育研修の実施

- 鉄道広告コンクールの実施に向けた検討

河田 健治

美観風致委員長代理コメント

今年は第3回の地球温暖化防止全国キャンペーンの展開のほか、モラルキャンペーンや鉄道広告コンクールの実施に向けての検討を進めたいと思う。

安全委員会

- 「事故事例ケーススタディ集」の作成

- 「絵で見る安全作業マニュアル」(改訂版)の作成

- 作業手順マニュアル及びチェック集の素案作成

- 安全管理体制に関する調査、分析、研究

- 安全作業に関する教育研修・実地訓練の実施

佐藤 裕紀

安全委員長コメント

各支部で行なわれている、安全作業に関する研修に引き続き協力すること、昨年、安全管理規則モデル集を作成したが、その中にある安全基準マニュアル、チェック集の次の段階の準備を始めたと思う。それに先立ち、今年度中に事故のケーススタディ集を出して、ケースによってどのような注意をしたらいいのか、分かりやすくできればと考えている。

環境委員会

- CO₂削減対策への取組み

(社)全国鉄道広告振興協会定期総会



- 環境対策事例の研究
- 環境研修の実施
- 環境意識の高揚
- 第3回地球温暖化防止キャンペーンの実施

稲垣 義孝

環境委員長コメント

昨年度までは、安全・環境委員会と1つの委員会だったが、世の中の環境意識の高まりにあわせ、当協会でも個別に対処しようということと、今年から、環境委員会として独立し作業を行なうこととなった。未だ手探り状態だが、以上のことに取組んでいきたいと思う。

標準化委員会

- 2009年度版「全国鉄道広告料金表」の発行
今回より当協会ホームページでも公開する
- 各標準化プロジェクトの推進
- ① モニター制度：新たな掲出確認方法に関する情報収集と研究
- ② データ収集・調査研究委員会と共同によるJARAPシステムの検討
- ③ 共通約款問題・事故・災害時の取扱について具体例を収集しつつ、引き続き検討
- 携帯マナーに関する表記の標準化の検討

中山 久義

標準化委員長コメント

2009年度版の「全国鉄道広告料金表」を発行し、既に皆様の

元に届いているかと思う。色々な方が見られるようにということと、今回から協会のホームページでも公開している。不備があった場合でも、こちらで修正、掲出したいと思っている。また、従来のモニター制度、データ収集、事故災害などの共通約款問題等についても調査を進めていきたいと思う。他の問題点として、携帯電話のマナーに関わる表示が全国では統一されていない。何とか統一できないものかというお客さまからの要望もあり、こういった課題に関しても取組んでいきたいと思っている。

人材育成委員会

- 「09交通広告ビジネス概論」(改訂版)の発行
- 鉄道広告実務者研修の実施
- セミナー、シンポジウムの実施(公開)
- 通信教育等の教育システムのあり方についての検討

牛込 昭洋

人材育成委員長コメント

人材育成委員会は以上の4項目掲げている。交通広告ビジネス

概論改訂版の発行、鉄道広告実務者研修の2つは従来どおり実施し、セミナー・シンポジウムも例年通り実施するが、「公開」とあるように、会場の収容能力の関係もあるが、当協会の公益化に少しでも役立つよう、テーマによっては一般の方も聴講できるように検討していきたい。通信教育については、会員各社のスタッフの皆さんのスキルアップや、そのための研修、或いは鉄道広告業を目指す一般の方々の参考に供するためのカリキュラムを含め、検討を進める。

技術開発委員会

- デジタルサイネージに関する情報共有化と具体的導入についての検討
- 右と併行してアカウンタビリティ(性別・年齢別の認知率など)への技術的研究の促進
- 鉄道広告の最新技術及び応用可能な先端技術情報の収集と共有化

鈴木 憲治

技術開発委員長コメント

3つほど挙げたが、1つ目は近年大変注目を集めているデジタ

ルサイネージについてである。昨年十数社にお集まりいただき情報交換会を行なったが、今年も情報の共有化を図り、導入にあたっての諸問題についての検討を進めていきたいと思っている。2つ目は、昨年できなかった、アカウンタビリティであるが、クライアントから、広告効果について大変厳しい要求があり、鉄道広告に関してもアカウンタビリティを具体的に提示しなくてはならないということである。技術的には実用化の段階に入ってきているということもあり、性別、年齢別の認知率など具体的に導入ができるのか研究していきたいと思っている。最後に、今年も最先端の技術について収集と共有化を図っていきたい。

調査研究委員会

- 効率的なメディアプランニングの検討
- e販促データシステムを含めたインフラとしてのJARAPシステムの検討
(広告料金、利用者数、輸送人員等のマーケティングデータ提供)
- 鉄道利用者の鉄道広告に対する意識調査の検討

- 媒体活用事例の調査と紹介（「JARAP NEWS」偶数月号）
- マーケティング講座（「JARAP NEWS」奇数月号）

栗原 圭一

調査研究委員長コメント

5項目掲げているが、マーケティングデータというのが、未だ正式にオープン化されていない部分もあるので、その点を皆さまに分かりやすい、正確なデータを収集するよう努力したいと思っています。また、鉄道利用者の鉄道広告に関する意向調査についてもこれから検討していきたい。

業務近代化委員会

- 業務近代化に関する会員社へのアンケートの実施
- 第1段階として首都圏支部で実施
- アンケート結果の運用方法の検討
- 優先的な業務近代化の課題提言
- デジタルサイネージ導入による近代化の総括

堀 宏明

業務近代化委員長コメント

交通広告の更なる活性化のため

めの業務近代化の優先的な課題、問題を浮き彫りにしていくのが当委員会の役目である。しかしながら、会員各社の扱っている媒体種別や地域が様々で、その課題自体をなかなか一つにできないが、第1段階として、首都圏支部で会員の方々が抱えているクライアントからの要望と、こうしたら交通広告がもっと使いやすくなるのではというような課題をアンケートにしてみたい。非公式なクライアント側とのヒアリングを含め、今年度中に実施していきたい。デジタルサイネージについても他の委員会と重なる点もあるが、クライアントにとってどういう使い方ができるのか等、様々なことをできるだけ浮き彫りにしていきたい。

PR委員会

- 「JARAP NEWS」の充実
- ホームページの充実
- ① 公益社団法人化を念頭においたホームページデザインの改修検討
- ② 「地球温暖化防止キャンペーン」等に合わせた専用ページの開設
- 公益社団法人化後の協会PRの展開

石塚 正孝
PR委員長コメント

今年も、3本柱の活動を考えている。「JARAP NEWS」を更に充実させ皆さまのニーズにえられる機関紙にしたい。今年は公益社団法人化の年でもあり、ホームページデザインの改修、ホームページを通じて各委員会の活動、成果など情報を会員全員で共有化することが大事なので、内容を更に充実させていきたい。また、夏には「地球温暖化防止キャンペーン」の専用ページを開設する予定である。3つ目は公益社団法人化以降の協会のPRの展開を推進していきたい。

法人改革特別委員会

- 公益社団法人認定取得に向けての取組みを継続

各支部の主な活動目標

北海道支部

- 支部幹事会の開催（4月）
- 支部総会の開催（4月）

- 媒体会議の開催（年4回）
- 研修会の開催（22年1月）
- 新規会員の入会懇話
- 地球温暖化防止キャンペーンの実施

森下 昌

北海道支部長代理コメント

一部景気の底打ちという情報も流れているが、北海道では老舗のデパートが閉店したり、撤退したりと依然厳しい状況である。その中で21年度の活動目標だが、既に支部の幹事会、総会を4月21日に開催したほか、今後、媒体会議、研修会等を順次実施することとしている。会員間の連携をさらに密にして、この状況を乗り切っていきたい。

東北支部

- 支部総会の開催
- 支部セミナーの開催
- 関東・関西地区媒体開発事例の東日本支部への導入の検討
- 新規会員の入会懇話
- 地球温暖化防止キャンペーンの実施

佐藤 俊一郎

東北支部長コメント

支部総会は秋以降の開催を考えている。セミナーは例年同様行ないたいが、首都圏を中心にデジタルサイネージ等新しい素材を使った事例がかなり動き出している。ローカルのエリアでどこまで実務に乗せられるのかというところを中心に勉強したいと思う。

首都圏支部

- 支部幹事会の開催(7月)
- 支部セミナーの開催(9月、11月、22年2月の3回を予定)
- 鉄道広告実務研修の開催(8月)
- 支部総会の開催(22年2月)
- 関東交通広告協議会(11社会)との連携強化
- 地域間交流の促進
- 新規会員の入会懇懇
- 地球温暖化防止キャンペーンの実施

佐々木 信幸

首都圏支部長コメント

計画の詳細についてはそれぞれ詰まった時点で会員の皆様に別途連絡するが、支部幹事会を7

月開催予定で、6月中に幹事に案内状を送付の予定である。支部セミナーは昨年同様9月、11月、来年2月の3回を予定しているが、テーマ、人選については支部の幹事会で諮りたい。鉄道広告実務者研修は8月下旬の開催を予定しているが、人材育成委員会と協議して講師の人選を行いたいと思う。支部総会は来年2月の予定である。関東交通広告協議会(11社会)との連携の強化だが、具体的には各社が持つ媒体社機能を活用して、地球温暖化防止キャンペーンに伴う協力要請を行なうので、JARP事務局から協力要請文書を送っていただきたい。同時に、中長期的にはこの11社会で各種調査への協力により、交通媒体価値を高め、業界全体に寄与する取り組みを考えたい。地域間交流については、新潟、長野が首都圏エリアに入っているので更に交流を深めたい。

中部支部

- 支部総会の開催(6月)
- 支部セミナーの開催(6月)
- 他地区の媒体視察・情報交換会の実施(11月)
- 支部会員交流会の開催
- 新規会員の入会懇懇

● 地球温暖化防止キャンペーンの実施

石塚 正孝

中部支部長コメント

以上のとおり、他支部と大体同様であるが、特に他地区の媒体の視察、情報交換会支部会員の交流会などを中心に、この1年やっていきたいと思っている。

近畿・中国・北陸支部

- 支部総会・懇親会の開催(7月)
 - 支部幹事会の開催(7月、10月、22年2月)
 - 支部セミナーの開催(7月、22年2月)
 - 鉄道広告実務研修の実施(9月)
 - デジタルサイネージ化に伴う首都圏地区視察及び情報の共有化
 - 大型プロジェクト(鉄道・流通)の情報収集
 - 関西交通広告協議会との連携
 - 「JARP NEWS」を通じての情報提供の充実
 - 新規会員の入会懇懇
 - 地球温暖化防止キャンペーンの実施
- 浅沼 唯明
近畿・中国・北陸支部長コメント

10項目挙げているが、特に鉄道広告の実務者研修は入社5年未満程度の若手社員を中心に、実務を鍛えていきたいと思っている。デジタルサイネージは各地域で活用され始めているが、首都圏の先進事例を細かく勉強し、経営陣、販売担当者においても、実態を肌で感じられるようにしていきたいと思っている。関西では、大型プロジェクトが控えており、2010年JRの関連では2000億円プロジェクトの大阪の新駅が完成する。難波でも100階建てのビルの建設といった、画期的な年が近づいているので、そういったところの媒体情報を伝達し勉強していきたいと考えている。

四国支部

- 支部総会の開催(6月)
- 支部会員交流会の開催(12月)
- ビデオ研修会の開催(22年3月)
- 企画・提案のできる人材の育成
- 新規会員の入会懇懇
- 地球温暖化防止キャンペーンの実施

河田 健治

四国支部長代理コメント

以上の通りだが、特に企画提案
できる人材を育成するため実務
者研修に力を入れていきたいと
思う。

九州支部

- 支部総会の開催(12月)
- 支部セミナーの開催(12月)
- 支部運営会議の開催(4月、11月、22年3月)
- 支部運営小会議の開催(4月、7月、10月、22年2月)
- 西鉄広告会、福岡市営地下鉄交通広告会、九州鉄道広告会との連携強化
- 新規会員の入会促進
- 地球温暖化防止キャンペーンの実施

佐伯 圭介

九州支部長コメント

今年は12月11日に支部総会、併せてセミナーの開催を予定している。運営会議を年2、3回、事例紹介を4回行なう予定である。また九州の場合、鉄道事業社毎に広告会があり、連携を強化していきたいと思っている。現在正会員が29社であるが、新規会員の入会促進にも努力をしていきたい。

以上の平成21年度事業計画(案)は、
挙手による採決の結果、委任状による
ものを含め、定款第39条に基づく2/3
以上の賛成により議決された。

第4号議案

平成21年度予算(案)は、P13～P15
のとおり、挙手により採決の結果、委
任状によるものを含め、満場一致の賛
成により議決された。

第5号議案

公益社団法人化のための定款(改正
案)並びに会費規則及び常勤役員報酬
規程(改正案)について塚越法人改革
特別委員会委員より以下のとおり説
明があった。

定款につきましては、3月26日の臨
時総会において、改正の決議を一旦い
ただきました。本来ならば、3月26日
に決議された定款の改正案で国土交
通大臣の認可を得た上で、本日の定期
総会では、公益法人認定申請のための
定款変更ということ、2段階目の決
議をいただくという予定になってお
りました。

しかしながら、国土交通省とのやり
取りの中で、臨時総会で決議いただい

た改正案から多数の修
正点が指摘され、あらた
めて総会の決議をとる
必要がでてくるとも考
えられたことから、委員
会において検討した結
果、定款改正については、
国土交通大臣の認可を
得ることなく、公益法人
の認定に向けて1段階
ですませてしまうこと
が妥当であると判断し
ました。従って、本日は、
3月に決議いただいた
改正案を撤回し、今回の
改正案をもって公益認
定申請を行う、という趣
旨で決議をいただきました
と考えております。

なお、本日の改正案に
ついては、事前に内閣府
の公益認定等委員会の
事務局に説明し、問題な
いとの意見を得ており
ます。また、国土交通省
の担当者にも、以上のような方針につ
いては説明し、理解を得ています。

従って、本日の改正案は、①公益社団
法人化にあたり必要となる、当初から
第2段階目の改正として予定していた
部分と、②3月26日に決議いただいた



内容について、その後国土交通省や公益
認定等委員会の事務局とやり取りする
中で指摘を受け、追加修正した部分と
なっています。細かい表現や、用語の
修正について逐一の説明は省略し、大
きなところだけご説明いたします。

まず、①公益社団法人になるための、当初第2段階目の改正として予定していた部分についてですが、(ア)1つ目は、定款第1条、当協会の名称を変更します。(イ)2つ目は、改正案の4条、5条の目的及び事業について、当協会は元々公益的な活動をしていますので、内容が大きく変更するわけではありませんが、公益認定申請を意識し、今までの事業を整理した形で記載することとしました。(ウ)3つ目は、現在の定款にある、国土交通大臣への届出や認可といった手続きに関する規定の削除を行っております。

それから、②国土交通省や公益認定等委員会の事務局からの指摘で変更した部分についてですが、(ア)改正案の6条について、従来は、学識経験者で理事などの役員になっていた方が方については、自動的に個人会員になっていたいただき、総会でも議決権行使していただきましたが、これについては公益認定の要件を逸脱する可能性が高いとの指摘を受けたため、削除しました。(イ)同じく改正案の6条について、従来は、同じ会社の中でも支社や営業所といった単位で入会の申請をいただいた場合は、その支社や営業所等の単位を会員として扱っておりましたが、会員については権利能力のある者、すなわち法人でなければいけないとの指摘を受けたため、定款上

の会員については、法人単位でカウントするという改正をしています。ただ、実態としては、支社や営業所等の単位で入会いただいている法人につきましては従来どおり、支社や営業所等の単位で総会に出席して、議決権を行使していただくこととなります。条文としては、改正案の22条あたりがそれになります。また、会費規則にもあるとおり、会費についても、従来どおり、支社、営業所等の単位でお支払いいただくこととなります。

なお、この定款改正案については今日決議いただいた後、公益認定の申請の際の添付資料として提出予定になっております。従って、その施行日は公益社団法人の登記をした日からとなっております。それまでの間は、3月に決議をいただいた定款改正案を適用することはなく、それ以前の定款が有効、ということになります。

それから、定款の変更に伴って、会費規則と常勤役員報酬規程も併せて改正いたします。こちらも3月に決議をいただきましたが、定款改正案の修正に伴い、必要な修正を加えております。

なお、誤字、表現等の軽微な修正については、今後の検討の中ででてくる可能性があるので、事務局に一任

いただくということで、ご決議いただきたいと思います。

公益社団法人化のための定款(改正案)並びに会費規則及び常勤役員報酬規程(改正案)は、挙手による採決の結果、委任状によるものを含め、定款第44条に基づく3/4以上の賛成により議決された。

第6号議案

理事の選任(案)について

当協会の「理事の任期」は定款第15条の規定により就任後2年目の定期総会終結の時まで(但し補選された理事任期は前任者の残任期間)となっているが、平成21年3月26日の臨時総会終了後、新たに2名の理事が人事異動等の事由により退任を希望されているので退任を了承したい。また、新任理事2名を下記の通り選任したい。と説明があり、挙手による採決の結果、満場一致で、定款第13条に基づき議決された。

新たに選任された理事は次のとおり

浅沼 唯明

(株)ジェイアール西日本コミュニケーシヨンズ

代表取締役社長

徳田 博之

東京急行電鉄(株)

情報・レクリエーシヨン事業部

情報事業推進部統括部長

なお、理事の任期は2010年の定期総会までとすることが確認された。

以上をもって16時15分、総会は滞りなく終了した。



総会後の懇親会で乾杯の発声をする佐々木信幸副会長



挨拶する国土交通省鉄道局鉄道業務政策課長 堀家久靖様

同日の懇親会にお越しいただいた多くの来賓を代表して、堀家久靖 国土交通省鉄道局業務政策課長並びに、媒体社を代表して後藤高志西武鉄道株式会社取締役社長よりご挨拶をいただきました。

国土交通省鉄道局鉄道業務政策課長
堀家 久靖様 挨拶

本日はお招きに預かりましてまことにありがとうございます。

JARAPにおかれましては平成17年11月1日に設立されて以来、今年の秋に丸4年目を迎えられますが、この間、着実に成果をあげ、本日、平成21年度の定期総会を開催されましたことを、まずは心よりお祝い申し上げます。

改めて申し上げるまでもございませんが、鉄道広告は、鉄道の空間の中で提供され、鉄道の一部、鉄道そのものでもあります。また、なにより、鉄道を利用される方にとりましては、日常生活の一部でもあります。毎日決まった場所で、朝晩の挨拶を交わすように出会うものです。また、満員電車の中で身動きもできず揺られているとき決まって目の前にあり、大変印象に残るものです。情報伝達の効果も大きければ、影響も大きいものであると思います。

JARAPではこのような鉄道広告の特性や、公共的な使命に着目され、「倫理と品位」、「美観と風致」、「安全の確保」を3本柱に本日まで積極的な活動を展開され、今日の発展につながっているのをごさいます。これもひとえに、岩崎会長のリーダーシップ、事務局の皆様のご尽力、そしてなによりも、会員の皆様の積極的な参画の賜でございまして、心より敬意を表したいと思ひます。

我が国の鉄道は、世界に冠たる鉄道といつていいものと思ひます。年間220億の方がご利用になります。様々な相互直通も可能になるなどキメの細かいネットワーク、そして先進的な鉄道技術というのは世界に類を見ないものだと思います。

鉄道が環境に優しいエコな乗り物であるということは皆様よくご存知のとおりでございます。CO₂の排出量も自家用車の9分の1。また、昨年の10月に観光庁も発足いたしました。観光立国を目指す我が国にあって、観光を支える交通手段であることはもちろんです。

が、鉄道そのものが観光資源でもあります。非常に大きな可能性を持った交通機関だと思ひます。

これから鉄道のお客さまも高齢化し、人口が減るといふことです。今後はどなたでも安全安心、便利に、また快適にご利用いただけるような環境作り、キメの細かいサービスというものが今までも増して重要だと思ひております。私も行政でも、駅のエレベーター、エスカレーターや最近ではホームドアの整備に頑張っております。鉄道事業者の皆様を支援させていただきます。というところでございします。そういう便利で快適な鉄道を実現するに当って、鉄道広告の役割というのは非常に大きいと思ひますし、可能性も大変大きいと思ひます。

最近の業界を取り巻く環境には、なかなか厳しいものがあると思ひますが、是非元氣を出していただきまして、この逆境を乗り越えて、新たな発展につなげていただきたいと思ひます。

皆様のお力で、魅力的な広告で鉄道

平成21年度予算
収支予算書総括表
平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	一般会計	特別会計	内部取引消去	合計
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 入会金収入				
入会金収入	90,000	0	0	90,000
② 会費収入				
正会員会費収入	62,005,000	0	0	62,005,000
特別会員会費収入	2,100,000	0	0	2,100,000
賛助会員会費収入	1,500,000	0	0	1,500,000
③ 補助金等収入				
民間補助金収入	11,500,000	0	0	11,500,000
④ 負担金収入				
負担金収入	2,700,000	6,270,000	0	8,970,000
⑤ 雑収入				
雑収入	100,000	0	0	100,000
事業活動収入合計	79,995,000	6,270,000	0	86,265,000
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
給料手当支出	13,200,000	0	0	13,200,000
通勤費支出	459,000	0	0	459,000
福利厚生費支出	1,840,000	0	0	1,840,000
会議費支出	8,550,000	310,000	0	8,860,000
旅費交通費支出	1,420,000	0	0	1,420,000
通信運搬費支出	4,620,000	0	0	4,620,000
消耗品費支出	1,286,000	0	0	1,286,000
修繕費支出	2,350,000	0	0	2,350,000
印刷製本費支出	16,165,000	0	0	16,165,000
諸謝金支出	100,000	0	0	100,000
委託費支出	3,080,000	5,050,000	0	8,130,000
雑支出	1,500,000	50,000	0	1,550,000
② 管理費支出				
給料手当支出	12,000,000	0	0	12,000,000
通勤費支出	245,000	0	0	245,000
福利厚生費支出	876,000	0	0	876,000
会議費支出	4,400,000	0	0	4,400,000
旅費交通費支出	200,000	0	0	200,000
通信運搬費支出	740,000	0	0	740,000
消耗什器備品費支出	50,000	0	0	50,000
消耗品費支出	210,000	0	0	210,000
新聞図書費支出	420,000	0	0	420,000
印刷製本費支出	60,000	0	0	60,000
光熱水料費支出	460,000	0	0	460,000
賃借料支出	8,295,000	0	0	8,295,000
諸謝金支出	504,000	0	0	504,000
租税公課支出	72,000	0	0	72,000
会費支出	300,000	0	0	300,000
雑支出	660,000	0	0	660,000
事業活動支出合計	84,062,000	5,410,000	0	89,472,000
事業活動収支差額	-4,067,000	860,000	0	-3,207,000
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入合計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	1,400,000	0	0	1,400,000
投資活動支出合計	1,400,000	0	0	1,400,000
投資活動収支差額	-1,400,000	0	0	-1,400,000
III 予備費支出				
予備費支出	500,000	0	0	500,000
当期収支差額	-5,967,000	860,000	0	-5,107,000
前期繰越収支差額	6,081,831	866,546	0	6,948,377
次期繰越収支差額	114,831	1,726,546	0	1,841,377

一般会計収支予算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算	増減	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
①入会金収入				
入会金収入	90,000	90,000	0	
②会費収入				
正会員会費収入	62,005,000	67,862,500	-5,857,500	
特別会員会費収入	2,100,000	2,000,000	100,000	
賛助会員会費収入	1,500,000	1,432,900	67,100	
③補助金等収入				
民間補助金収入	11,500,000	13,000,000	-1,500,000	
④負担金収入				
負担金収入	2,700,000	3,700,000	-1,000,000	
⑤雑収入				
雑収入	100,000	300,000	-200,000	
事業活動収入合計	79,995,000	88,385,400	-8,390,400	
2. 事業活動支出				
①事業費支出				
給料手当支出	13,200,000	13,800,000	-600,000	
通勤費支出	459,000	322,300	136,700	
福利厚生費支出	1,840,000	1,950,888	-110,888	
会議費支出	8,550,000	11,960,000	-3,410,000	
旅費交通費支出	1,420,000	2,650,000	-1,230,000	
通信運搬費支出	4,620,000	7,580,000	-2,960,000	
消耗品費支出	1,286,000	1,483,744	-197,744	
修繕費支出	2,350,000	900,000	1,450,000	
印刷製本費支出	16,165,000	15,975,000	190,000	
諸謝金支出	100,000	600,000	-500,000	
委託費支出	3,080,000	3,080,000	0	
雑支出	1,500,000	1,500,000	0	
②管理費支出				
給料手当支出	12,000,000	12,000,000	0	
通勤費支出	245,000	331,500	-86,500	
福利厚生費支出	876,000	860,536	15,464	
会議費支出	4,400,000	5,300,000	-900,000	
旅費交通費支出	200,000	180,000	20,000	
通信運搬費支出	740,000	852,000	-112,000	
消耗什器備品費支出	50,000	50,000	0	
消耗品費支出	210,000	288,000	-78,000	
新聞図書費支出	420,000	420,000	0	
印刷製本費支出	60,000	34,000	26,000	
光熱水料費支出	460,000	468,000	-8,000	
賃借料支出	8,295,000	8,294,820	180	
諸謝金支出	504,000	504,000	0	
租税公課支出	72,000	72,000	0	
会費支出	300,000	300,000	0	
雑支出	660 000	660 000	0	
事業活動支出合計	84,062,000	92,416,788	-8,354,788	
事業活動収支差額	-4,067,000	-4,031,388	-35,612	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入合計	0	0	0	
2. 投資活動支出				
特定資産取得支出				
退職給付引当資産取得支出	1,400,000	1,400,000	0	
投資活動支出合計	1,400,000	1,400,000	0	
投資活動収支差額	-1,400,000	-1,400,000	0	
III 予備費支出				
予備費支出	500,000	500,000	0	
当期収支差額	-5,967,000	-5,931,388	-35,612	
前期繰越収支差額	6,081,831	7,115,392	-1,033,561	
次期繰越収支差額	114,831	1,184,004	-1,069,173	

特別会計収支予算書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
① 負担金収入				
負担金収入	6,270,000	6,590,000	-320,000	
事業活動収入合計	6,270,000	6,590,000	-320,000	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出				
会議費支出	310,000	310,000	0	
修繕費支出	0	0	0	
委託費支出	5,050,000	5,700,000	-650,000	
雑支出	50,000	200,000	-150,000	
事業活動支出合計	5,410,000	6,210,000	-800,000	
事業活動収支差額	860,000	380,000	480,000	
当期収支差額	860,000	380,000	480,000	
前期繰越収支差額	866,546	692,756	173,790	
次期繰越収支差額	1,726,546	1,072,756	653,790	

中部支部

中部支部総会と
懇親会を開催しました

去る6月19日(金)、レセプションハウス名古屋通信会館において、平成21年度中部支部定期総会が、支部会員各社37社中25社、委任状による議決権行使10社の参加のもと、開催されました。

事務局である(株)ジェイアール東海エージェンシーの進行のもと、石塚支部長の挨拶後、議長に(株)中央広告 矢田武男氏を選出し、以下の議題について、報告、審議を実施いたしました。

まず、報告事項として、「平成21年度定期総会議案書」に基き、「平成20年度事業報告」、「平成21年度事業計画」、「平成21年度予算」及び「公益法人化のため

の定款改正」など本部定期総会の報告・説明を行いました。

続いて、中部支部とし



支部総会で挨拶をする石塚正孝支部長



懇親会で挨拶をする江川建男副支部長

て以下の議案について審議を行い、満場一致にて原案どおり承認決議されました。

第1号議案 平成20年度事業報告(案)について

第2号議案 平成20年度決算(案)について

監査報告は会計責任者 表示灯(株)名古屋支社長 石川勝巳氏より報告

第3号議案 平成21年度事業計画(案)について

第4号議案 平成21年度予算(案)について

総会終了後には、中部支部副支部長である、(株)電通名鉄コミュニケーションズ顧問 江川建男氏の挨拶・乾杯後、懇親会が盛大に開催されました。



宮田亮平 作 飛翔

手塚雄二 作 氣

大津英敏 作 翔びたい気持

日比野克彦 作 Gifl Kebir

第3回地球温暖化防止 全国鉄道広告キャンペーンを開催！

エキからエコ。

地球温暖化を、一枚の環境アートから考えるプロジェクト躍動。

当協会では今年で3回目になる「地球温暖化防止キャンペーン」を8月7日(金)より全国の電車、駅のポスターを活用して展開いたします。

今年も全国の拠点エリアで延べ枚数約37万枚のポスターを掲出、更にインターネットタイプな仕掛けをキャンペーンに取り入れました。駅貼りポスターにQRコードを印刷し、各アーティストの作品に対する情報を提供しています。

駅でこのポスターを見かけたら、是非、お持ちの携帯からアクセスしてみてください。

また、JARAPホームページ内に、地球温暖化防止キャンペーン特設サイトを立上げ、キャンペーンの概要、各アーティストの紹介、協力鉄道会社の環境活動サイトへのリンクをいたしております。更に今回はキャンペーン期間が、学校の夏休みにあたるため、親子で鉄道やエコに興味を持っていただけるよう、「夏休みの自由研究」のページを作り、鉄道各社が具体的にどのような環境活動に取り組んでいるのかを紹介したり、全国各地にある鉄道博物館を紹介するページも設けてあります。

今年の夏は私たちを取り巻く環境について考えてみましょう。

なお、キャンペーンサイトは、8月7日にオープン予定です。

注)ビジュアルはQRコード付B1ポスター。一部の駅ではQRコードのないポスターを掲出しています。

1. 実施期間

平成21年8月7日(金)～8月30日(日)

2. ビークル

車内ポスター B3ポスター×4種類
駅ポスター B1ポスター×5種類
B0ポスター×4種類

3. 制作協力

ビジュアル提供…

東京藝術大学学長

宮田亮平氏 飛翔(新作)

多摩美術大学造形表現学部長

大津英敏氏 翔びたい気持(新作)

東京藝術大学教授

手塚雄二氏 氣(1984年作)

東京藝術大学教授

日比野克彦氏 Gifl Kebir(ギルフ・キビル)(新作)

コピーライター…

眞木準氏

アートディレクター…

蛸名龍郎氏

4. 協賛 財団法人日本宝くじ協会

5. 後援 環境省 国土交通省

6. 協力

小田急電鉄(株)、九州旅客鉄道(株)、京都市交通局、近畿日本鉄道(株)、京王電鉄(株)、京成電鉄(株)、京阪電気鉄道(株)、京浜急行電鉄(株)、神戸市交通局、埼玉高速鉄道(株)、相模鉄道(株)、札幌市交通局、四国旅客鉄道(株)、首都圏新都市鉄道(株)、西武鉄道(株)、東海旅客鉄道(株)、東京急行電鉄(株)、東京地下鉄(株)、東京都交通局、東京モノレール(株)、東京臨海高速鉄道(株)、東武鉄道(株)、東葉高速鉄道(株)、名古屋鉄道(株)、名古屋鉄道(株)、南海電気鉄道(株)、西日本鉄道(株)、西日本旅客鉄道(株)、阪急電鉄(株)、阪神電気鉄道(株)、東日本旅客鉄道(株)、福岡市交通局、北海道旅客鉄道(株)、横濱新都市交通(株)、横浜高速鉄道(株)、横濱市交通局(36社、五十音順)

編集後記

日本中が盛り上がった「皆既日食」を全く見ることもなく終わってしまいました。もっと暗くなるのかと思っていたのですが、曇っていたこともあり、全く分からずじまいでした。そして、日本で次回は26年後に見られるそうです。自然界の26年なんてあっという間なのかもしれませんね。みなさまの近くで月や星がきれいに見えるところを教えてください。

●メールと写真、ご意見、ご感想はこちらへどうぞ。
information@jarap.jp

●次号Vol.43は9月1日発行予定です。お楽しみに。